

13. 学生のボランティア活動

1) ボランティア活動への支援

高知県立大学看護学部では、教員と学生が積極的に地域社会のボランティア活動に参加している。学生のボランティア活動を支援・促進し、人間や社会への関心を高め、さらに主体性の育成を支援するため、教員2名がボランティア委員として活動している。ボランティア委員は、ボランティアを募集する機関・団体と学内教員との橋渡しや、高知医療センターとの活動調整を行っている。以下、本年度のボランティア活動への支援について報告する。

(1) ボランティア活動に関するガイダンス

高知県立大学看護学部で年間を通したボランティア活動について、4月に各学年へガイダンスを行った。

- ①看護学部に関わりのあるボランティア活動の紹介
- ②高知医療センターでのボランティア活動について
- ③ボランティア活動保険について
- ④その他

(2) ボランティア活動に参加する学生への支援

学生がボランティア活動に自主的に参加できるように、環境の整備、医療センターの調整を適宜、実施した。

①ボランティア活動に参加する学生のためのレクチャー・ガイダンスの実施

- i. 学内におけるガイダンス：車いす介助・視覚障がい者のガイド

(5月から6月にかけて1回生対象に4回実施、計84名参加)

- ii. 医療センターにおけるボランティアガイダンス(6月に2回実施：1回生84名参加)

②ボランティア保険への加入手続き

全国社会福祉協議会が運営しているボランティア活動保険への申込、加入手続きを行った。

(1回生81名、2回生23名、3回生3名、計107名(昨年度129名)の加入)。

③学生への直接的支援とヒアリング

学生からのボランティアに関する相談等については、必要に応じて担当教員が対応した。

なお、学生に対するヒアリングを実施し、その結果については医療センターと共有化を図った。

④感染症対策

学内においては保健委員と協働し、学生の感染症抗体価の状況について把握するとともに、ボランティアに参加を希望する学生については、ワクチン接種の必要性について呼びかけた。また、医療センターで行われるインフルエンザ対策として、インフルエンザの流行期に入る前に1・2回生に対して、インフルエンザワクチン接種を呼び掛けた。そして、年度内に複数回ボランティア活動経験のある学生に対して、担当教員が調整を行い、1回生5名、2回生2名、計7名が医療センターで予防接種を受けた。

⑤ボランティア連絡協議会への参加、その他、必要時のミーティングの実施

学生が安心してボランティア活動に参加できるように連携を図るとともに、医療センター職員と情報の共有を行った。また、トラブル発生時には医療センター担当職員とも協議を行い、学生が安全にボランティア活動に参加できるように調整を行った。

(3) 学外ボランティア募集に関する学生への情報提供

ボランティア募集のあった以下の団体・イベントの情報について、キャンパスポータルサイトを
トを利用し、学生に提供を行った。

- ①高知県小児糖尿病サマーキャンプ（平成 30 年 8 月 15 日～18 日）
- ②土佐の夢話想 2018（平成 30 年 9 月 23 日）
- ③中四国助産師会研修会（平成 30 年 9 月 29 日～30 日）
- ④キッズ☆バリアフリーフェスティバル（平成 30 年 11 月 17 日～18 日）
- ⑤みさとフェア（平成 30 年 11 月 18 日）
- ⑥高知頤損会春のお花見 or イオンモール交流会 2019（平成 31 年 3 月 31 日）
- ⑦トーメン団地（高知市一宮）自治会・そめい会（老人会）「桜まつり」（平成 31 年 3 月 31 日）

2) 高知医療センターでの活動

本年度も例年同様、高知医療センターのボランティア組織「ハーモニーこうち」の活動に参加した。1 回生は、月曜日 3 限をボランティア活動の時間として位置づけているため、この時間を活用して活動に参加した。しかし、例年よりも 1 回生の活動が少ないこともあり、後期開始後すぐに 1 回生の学生ボランティア委員と対策を検討したことで、参加人数が増加した。2 回生は、講義や実習の合間に正面玄関清掃等でのボランティア活動に勤しんでいた。本年度の特徴としては、参加人数は多くはないものの、興味関心の高い学生が継続的に参加したことである。学生の希望を柔軟に受け入れるなど、希望する学生が活動しやすいように支援を行った。定期的にボランティア活動に参加している学生は、積極的・自主的にボランティア活動に取り組み、「ハーモニーこうち」の方々にも高く評価されている。

以下、学生が参加したボランティア活動と参加状況について示す。

- (1) 入院案内ボランティア活動：参加者なし。
活動時間：毎週月曜日 13 時 00 分～14 時 00 分
今年度活動状況：希望する学生がいなかった。
参加人数：今年度は 0 名（昨年度 16 名、一昨年度 0 名）であった。
- (2) 小児フロア見守り活動：1～2 回生が主となり参加
活動時間：平日 13 時 00 分～16 時 00 分のうちの 1 時間程度
今年度活動状況：5 月から開始し、夏休み期間も実施した。
参加人数：今年度は延べ 43 名（昨年度 47 名、一昨年度 69 名）の学生が参加した。
- (3) 図書ボランティア活動：1 回生が参加
活動時間：木曜日の 13 時 30 分～15 時 30 分
今年度活動状況：9 月に実施した。
参加人数：今年度は延べ 4 名（昨年度 17 名、一昨年度 8 名）の学生が参加した。
- (4) 外来案内ボランティア活動：2 回生が参加
活動時間：火曜日と木曜日の 10 時 00 分～11 時 00 分
今年度活動状況：5 月に実施した。
参加人数：今年度は延べ 2 名（昨年度 0 名、一昨年度 2 名）の学生が参加した。
- (5) 玄関清掃：1～2 回生が主となり参加
活動時間：月曜日～金曜日 9 時 00 分～16 時 00 分のうち 1 時間程度
今年度の活動状況：5 月から開始し、夏休み期間も実施した。
参加人数：今年度は延べ 69 名（昨年度 55 名、一昨年度 51 名）の学生が参加した。

3) 高知龍馬マラソン 医療救護ボランティア（ロードサイドスタッフ）の活動

全国から約1万人のランナーが参加するビッグイベント『高知龍馬マラソン大会』が平成31年2月17日（日）開催された。今大会の医療救護ボランティアとして本学から13名（看護学部3回生2名、大学院生8名、教員3名）が参加した。活動の主たる目的は、ロードスタッフとして沿道に立ち、救護に関わる知識を生かして参加者をサポートすることである。

医療救護ボランティアの募集は、例年BLS（一次救命処置）や応急手当の知識・技術を修得している2・3回生を中心に募っているが、今年は試験の予定を考慮して3回生と大学院生に呼びかけた。高知龍馬マラソン実行委員会事務局との調整などは教員、事務が協力して行った。また、学生たちがボランティア活動を迅速かつ適切に行うために、まずは大学院生を中心にBLSの講習を行い、大会当日までBLS自己学習、自主練習ができるように自己学習環境を整える、オリエンテーションを行うなどの支援をした。

大会当日は、マラソンコースのロードサイド0.5km～ゴール地点で本学の学部生・院生・教員が配置され、ランナーの応援を行いながら“もしも”の時の対応に備えた。学部生には一人での判断、困ったこと、対応時の注意事項を再度周知した。また、学部生が担当している区間については、医療救護ボランティア登録をしていない教員が巡回し、学生のサポートにあたった。幸いにして重篤な傷病者に遭遇することはなく、すべての学生がその任務を無事に果たすことができた。開始前は、不安だった学生たちも、ロードスタッフとしての役割をもって配置され、地域の方と一緒に、ランナーに声援を送りながら、安全を確認するという貴重な体験となった。



写真1：医療救護． ボランティアとして



写真2：地域の人と共に